

四日市版コミュニティスクール報告書（平成29年度総括）

四日市市立三重小学校

校長 田中 重行

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 従来から笑顔をキーワードとして、学校・保護者・地域が協働して取り組んできたことを発展させます。
- ② 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めるとともに、学校とともに子どもを育てる中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について**(1) 教育活動の実践事例**

コミュニティスクールを受け、地域の教育力を活かした活動を行ってきました。職員一人ひとりの意識も向上し、各学年とも地域と協働した教育活動を行い、活動内容を年間2回の拡大委員会で、各学年から報告しました。

★1年生 下校支援・生活科

遠くから通学する子どもたちの登下校の見守りとして、登校時は鈴木さんに、1年生だけで下校する日の見守りを山本さんにお世話になっています。生活科では、三重幼稚園の子たちと「ぶんぶんごま」を一緒に行いました。また、昔遊びでは、長寿会の方にボランティアとして来て頂き、子どもたちといっしょに遊びを楽しみ、地域の方からは、「子どもたちに元気をもらったよ。」と仰っていただきました。交流を行う中で、1年生の子どもたちが成長してきた様子が見られました。

**★2年生 生活科**

「三重地区市民センター見学」では興味・関心を持って市民センターの見学を行いました。センターの窓口業務（出生届・転居届）から、関連施設として、卓球・新体操・空手・調理室、和室（お茶）、防災設備、図書室などを順次見学し、その説明を受けました。「みえっ子郵便局」では地区の郵便局に出かけ、家族へ手紙を出すなど家庭との協働を進めました。

**★3年生 社会科・総合：「町たんけんについて」**

東坂部の「火の見やぐら」、「そろばん塾」、「西光寺」、生桑町の毘沙門天を見学し、学校に戻って新聞作りを行いました。また、地域の「小売店を調べたい。」という子どもの声に、近くのお店を紹介してもらいました。また、昨年度から伝統産業である萬古焼の陶芸家が三重地区にみえることを知り、プロの技法と萬古焼にかけ



る情熱を子どもたちに伝え、自分たちも陶芸体験をしました。また、家庭・地域の方の協力を得て、お茶の勉強から発展したお抹茶団子作りに挑戦しました。

★4年生 社会：「地域の防災」特別活動：「長寿会さんと共に」

地域の方や保護者の方、そして四日市市の危機管理室の方に来ていただき、災害の恐さや災害が起こった時に大切にしなければならない事について、教えていただきました。今年は、地域防災担当の方の発案で HUG の訓練を行い、避難所の運営について、みんなで考えました。また、1日に必要な水分量やアルファ米についても学びました。様々な立場の人が過ごす避難所では、譲り合って行動することが大切である事、災害時は4年生も大切な働き手として助け合わなければならない事、等を心に刻むことができました。



スポーツ推進委員さんから「グラウンドゴルフ」を教えてくださいました。長寿会の方からも打ち方を教えもらうなど親しくなることができました。今年は、教職員もゴルフのチームに入り、地域の方と同じ目線で子ども達を見守りながら、一緒に競技したことで、地域との一体感も感じられました。終始、笑顔で活動でき、とてもよい交流になりました。



★5年生 社会科・総合「めざせ！米作りはかせ」

生桑の専業農家や JA の方から、お米が食糧としての素晴らしい点やこれからの農家の夢についてお話を聴きました。また、トラクターによる田おこし・田植え・いねの観察なども経験し、子どもの関心を高めながら、子ども達が「〇〇したい」という気持ちを大切に、意欲的に学習に取り組みました。地区の田んぼもお借りして、JA の方や保護者の方にご協力いただき、5月に田植え、9月に稲刈りを体験しました。農家の米作りに対する意欲や夢を知り、お米を大切に思う思いをもつことができました。



★6年生 総合的な学習「平和について考えよう」

社会科の歴史学習の中で何度も繰り返される戦争について学んだ6年生は、それらの戦争では、この三重地区からも多くの方が出兵し亡くなっていたことを、西門の隣にある「忠魂碑」を調べていくことで知りました。そこで、そこを管理する三重地区の遺族会の方から実際にお話を聴かせていただき、「この戦争の悲惨さを次の世代に伝え、二度と戦争を起こさないようにしていくのは自分たちだ。」という思いをもつことができました。さらに校区内にある「郷土資料館」へも足を運び、そこに収められている戦時中に使っていた日用品や軍服・鉄兜などを見学することで、“戦争”をより身近なものと感じ取っていました。



これらの報告の中で、「みえ委員会」のメンバーの方から「こんなゲストティーチャー

を探していると言ってもらえば、地域にみえ委員会から声をかけるから。」と力強いお言葉もいただき、活動がさらに広がりをもった学年もありました。

また、「みえ委員会」の場で生まれた「長寿会の方々との交流活動」については、今年度も1年生 生活科：「むかしのあそび」、4年生 特別活動：「長寿会さんと共に」で実現することができました。

これらの実践は、「みえ委員会」の年間2回を「拡大委員会」とし、各学年からも職員が参加し委員の方へ伝えることで、実際の子どもたちの取り組みの様子を理解していただきました。この結果、4年生のHUG体験や5年生の米づくりでの生産者の夢が直接子どもたちに届くなど、今年の取り組みに新しい考え方や内容が反映できました。みえ委員会の方を通して、地域と教職員の距離が近くなり、このように多くの地域の方たちとの交流の場を継続していくことができていると思います。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

年間5回のコミュニティスクール運営協議会（内、拡大委員会2回）を開催し、さまざまな視点からの意見をいただき、教育活動を見直すことができました。例えば、地区防災や長寿会の方との交流も4年目になり、前述のようにHUG体験やグラウンドゴルフなど、さらに子どもたちといっしょになって進めていくことができました。また、協議内容も、子ども達の授業の様子等の実態を見たうえで、土曜授業や学力向上について、いろいろな立場からのご意見をいただくことができました。

土曜授業では、昨年度に引き続き1月をフリー参観として保護者・地域の方に見て頂きました。ゲストティーチャーとして地域の方をはじめたくさんお招きすることで、日頃の学習に関わったお話を聴かせていただくことができました。子どもたちも職員も、地域の方といっしょになって経験し、直接コミュニケーションをとることによって「その人自身」から多くのことを感じ、学ぶことができました。地域の方からも、昨年より学校を身近に感じる事ができたと感想をいただき、今後も地域との連携を大切にすることによって、より豊かな人間性を育むことができると考えます。

また、学校での子どもたちの様子をたくさん保護者や地域の方に見ていただけるようになり、子どもたちのいいところも、課題となるところもはっきりとご意見としていただけるようになりました。さらに、みえ委員会のメンバーには幼稚園の園長先生に入っているため、幼稚園と小学校との交流も昨年度より進んできています。

3 今後に向けて

みえ委員会の方から学校と地域・保護者の絆が強まり、来年度はもう少し工夫を加えてながら、新しいことにも挑戦できるのではと、評価をいただきました。

今後も、学校だよりやホームページ等で情報発信をしながら、「学校・子どもを支える応援団」という形で支えてもらいたいと思います。そのためには、まず「みえ委員会」で教職員との意見交流を直接行い、学校の実態をより理解していただき、学校の応援団として教育活動をバランスよく支えてもらえる話し合いを続けていきたいと思っています。

別紙B

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立三重小学校

委員長 藤澤 和実

学校長 田中 重行

月	日	協議会の開催	活動内容（学校行事関連含む）
4			
5	15	第1回みえ委員会	<ul style="list-style-type: none"> 委員の委嘱 会則・学校づくりビジョンについて 年間活動計画について
6			
7	11	第2回みえ委員会 (拡大委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観 1学期の取り組みと教職員との交流 今年度の活動について
8			
9	19	第3回みえ委員会	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観 今後の予定について 給食について
10			
11			
12	18	第4回みえ委員会 (拡大委員会)	<ul style="list-style-type: none"> 授業参観 学校評価アンケートについて 2学期の反省と教職員との交流
1			
2	20	第5回みえ委員会	<ul style="list-style-type: none"> 学校評価の結果（総括） 関係者評価について 来年度の方向性について
3			